

日曜日礼拝順序

2017年1月8日 午前11時 南部チャペル

前奏 頌栄	539	武井里花姉
開会の祈り 主の祈り 交読文	3 詩編8篇	Scroggins 由紀牧師 一同
賛美歌 祈りの時	54 “よろこびの日よ ひかりの日よ”	Scroggins 由紀牧師
聖書拝読	創世記1章27-31節	坂田淑姉
賛美歌	183 “主のみたま くだりまし”	
説教	“創造主としての神”	Scroggins 由紀牧師
賛美歌 献金 報告 頌栄 祝禱 後奏 姉	217 “あまつましみず ながれきて”	下竹祐三郎兄
	541	Scroggins 由紀牧師 武井里花姉
(礼拝終了:奉仕開始)		

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“絶え間ない祈り”

“いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について感謝しなさい。” (テサロニケ人への第一の手紙5章15-17節)

アメリカの正月はあつけなく終わりますが、日本では皆さん、まだお正月気分の事でしょう。今年は1月1日が日曜日だったので礼拝がありました。キリスト教では日本の初詣のように1月1日を特別礼拝日とすることはありません。初詣といえば、かなり前の話ですが、日本の宣教団体に勤めていた時、年末のイベントで、12月31日の夜に集会があり、1月1日の早朝に家に戻る途中で、電車が混雑していたことを思い出します。普段、あまり祈ることがない現代の日本人も、初詣は熱心に出かける事を実感した、印象的な体験でした。どの国の人にとっても、祈りは生きていくうえで欠かせないものようです。

さて、クリスチャンは礼拝の時にももちろん祈りますが、普段も祈るように教えられています。“絶えず祈りなさい”というみ言葉は、私たちの生活が祈りによって支えられるように、という勧めでもあります。なぜ私たちの生活が祈りによって支えられなければいけないのか、それは、喜びなさい、感謝しなさい、という聖書のみ言葉を、祈りなしには成し遂げられないからなのです。ご聖霊のお力は、私たちが熱心に祈るときに与えられます。現在、祈る習慣のない方々は、一日に30分でも、祈りに費やして見てください。課題をささげるだけでなく、神に感謝し、すべてをつくられた、創造主の神を賛美しましょう。皆さんの神と共に生きる人生が喜ばしいものでありますように、お祈りしています。(Scroggins 由紀)

記事: 消息

—陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師、英語部の Kate Whitmore 姉、Joseph Feiler 兄、日本に戻られた小坂るみ姉、加納姉のお孫さんの Casey 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

—小坂るみ姉、山口まり姉から教会に献金が届きました。両姉に感謝いたします。

—先週の日曜日は、礼拝後、婦人会の姉妹たちによるお汁粉や昆布巻きをはじめ、ケーキやフルーツの差し入れもあり、年の初めにふさわしい、賑やかな交わりの時間でした。協力して下さった姉妹たち、有難うございました。

—1月1日の説教は、“新しい創造”と題して、コリント人への第二の手紙5章16-19節からでした。主イエスを信じる者は、新しくつくられたものであり、キリストによる和解のメッセージが託されているという箇所から、信徒のきよめと和解、そして、国同士の和解と平和について考えました。

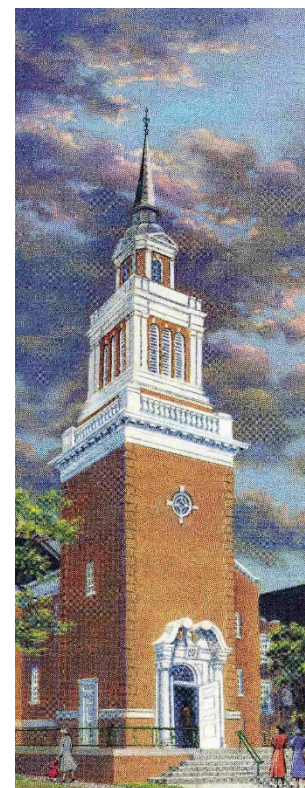
お知らせ

—2016年度の約束献金を、まだ完了されていない方に、教会の会計オフィスからのお知らせです。2017年1月9日までに、小切手を2016年12月31日の日付で書かれて会計のセクレタリーまで出されると、2016年度の献金として受容されます。

—今年の教会のディレクターがもうじき発行されます。最近、住所や電話番号が変わった方は、由紀牧師までお知らせください。

—今年の Day of Remembrance の集会は2月19日の午後2時からです。詳細は追ってお知らせいたします。

—来週の賛美歌は、2篇161、502、352です。



週報

第3608号
2017年1月8日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

発行: 2017年1月4日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200 E